

当院の外来に受診し、経口抗菌薬を処方された患者さんへの抗菌薬処方動向に関するカルテ情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

当院では、ご病気で入院・通院された患者さんの抗菌薬処方量に関するカルテ情報を用いた以下の医学系研究を実施しますので、ご協力をお願いいたします。本研究にあたっては、京都市立病院臨床研究倫理審査委員の承認及び病院長の許可のもと、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針及び法令を遵守して患者さんのプライバシー保護に留意して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「⑬お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

① 研究課題名	AWaRe 分類を指標とした経口抗菌薬の処方動向調査						
②実施期間	2024年9月24日～2024年11月4日						
② 対象となる方	2020年04月01日より2024年03月31日までの間に、外来診察において、経口抗菌薬の処方を受けた方						
④研究実施機関及び研究責任者	<table border="0"><tr><td>研究実施機関</td><td>対象診療科・所属</td><td>研究責任者</td></tr><tr><td>京都市立病院</td><td>薬剤科</td><td>小野 勝</td></tr></table>	研究実施機関	対象診療科・所属	研究責任者	京都市立病院	薬剤科	小野 勝
研究実施機関	対象診療科・所属	研究責任者					
京都市立病院	薬剤科	小野 勝					
⑤本研究の意義、目的、方法	<p>2015年5月の世界保健総会（WHO）で薬剤耐性*に関する国際的な課題に対処するための共同行動計画が採択され、またこれを受けて我が国でも2016年に薬剤耐性対策アクションプランで抗菌薬使用量の継続的な監視が提唱されました。2017年にWHOは、観察指標としてAWaRe分類の使用を促しました。AWaRe分類は、抗菌薬を「Access：一般的な感染症の第1選択および第2選択の抗菌薬」、「Watch：医療において重要であり、かつその使用により耐性菌が選択されるリスクが比較的高い抗菌薬」、「Reserve：最後の手段として使用する抗菌薬」の3つに分類し、Access割合60%以上を目標としています。</p> <p>本研究で、当院における抗菌薬使用動向をAccess分類で算出します。診療機能に応じた望ましい処方状況と比較し、問題点を抽出することができ、当院のさらなる抗菌薬の適正使用に繋がると考えます。</p> <p>*薬剤耐性とは、病原体が抗菌薬に対して効果を示さなくなる現象です。</p>						
⑥使用する資料・情報及び協力をお願いする内容	電子カルテ情報（傷病名、使用薬剤名、薬剤使用量・使用期間、受診診療科）						
⑦臨床研究倫理審査承認日	2024年9月24日						
⑧研究計画書等の閲覧等	本研究計画書及び研究の方法に関する資料は、他の研究対象者等の個人情報、知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては「⑬ お問い合わせ」にご連絡ください。						

⑨結果の公表	第34回日本医療薬学会年会（2024年11月開催）で公表します。
⑩プライバシーの保護について	本研究で取り扱う患者さんの個人情報、診療記録、病名、処方歴のみです。 その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
⑪研究の資金源	この研究に費用はかかりません。
⑫利益相反	本研究を実施するにあたり、開示すべき利益相反はありません。
⑬お問い合わせ	<p>本研究に関する質問や確認のご依頼は、以下へご連絡ください。</p> <p>また、本研究の対象となる方又はその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）から、本研究への登録の停止を求める旨の申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も以下へのご連絡をお願いいたします。</p> <p>研究分担者：森田 真由 京都市立病院 薬剤科 〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1の2 TEL：075-311-5311(代) 平日8：30～17：15</p>